

(様式2)

令和 5 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591000011		
法人名	社会福祉法人苗場福祉会		
事業所名	グループホームみかん		
所在地	新潟県十日町市仁田2311番地4		
自己評価作成日	令和5年7月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_i_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1591000011-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_i_2016_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=1591000011-00&amp;PrefCd=15&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和5年8月31日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

十日町市の中心地より10km程離れた静かな山と緑に恵まれた所です。お客様の希望や想い、夢が叶う生活が出来るように、職員の業務分担をせず一人ひとりに寄り添った関わりを持っています。職員で作上げたグループホームみかんの理念でもあります『【み】んなで【か】ぞくのようにあ【ん】しんして暮らせます』をもっととし、日々お客様と家族のように関わりをもちながら日々頑張っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域住民に支えられた暮らしの支援  
事業所は2階建ての建物で、1階にデイサービスセンター、配食サービス、居宅介護支援事業所を併設した複合型施設の2階にあり、行事や訓練など連携・協働体制ができている。開設して17年目を迎えるが、災害時の地域における身近な避難所としての機能を持ち、地域の高齢者を支援する拠点としての役割を担っている。事業所における訓練への参加や災害時の連絡・協働体制も構築されている。また、地域住民の方からの情報で入居に繋がったケースや、一人で外出した利用者を見かけて連絡をもらうなど、利用者は地域住民に見守られながら安心して暮らすことができている。今後も地域住民に支えられ地域に親しまれる事業運営を続けていくことが期待される事業所である。

○職員のモチベーションにもつながる研修への取り組み  
年間の研修計画に基づき、集合研修への参加に制限もある中、Web研修を中心に職員一人ひとりが学ぶ機会を設けている。職員は研修を通じて学び気づいたことなど報告書に記録し、資料とともに職員個々にファイリングされ、学びの経過と実績として管理されている。研修での学びは日々の利用者支援の中でも活かされており、虐待防止や緊急時の対応等、実践力の向上につながっている。新人職員へも同様の研修の他、フォローアップ研修やグループ内、法人内研修で学ぶ機会があり、法人全体で職員育成に取り組んでいる。上司による直接的な指導や職員間でフォローし合いながら高め合える環境であることから、働きやすく職員のモチベーションにつながっている。

○チームで取り組む利用者主体の日常生活支援  
職員は常に利用者主体でケアの方向性や業務改善など日々前向きに捉え話し合っている。特に排せつ支援には力を入れ、トイレでの排泄を当たり前として利用者一人ひとりのアセスメントに基づき、データを取りながら職員同士情報共有して一生懸命排せつの自立支援に向け取り組んでいる。排せつの失敗なく過ごせる暮らしは、利用者の生活の質の向上や生活の豊かさに繋がっている。活動に関して、コロナ禍で思うように地域交流や外出ができない中でも、天気の良い日には外にテーブルを出してお茶を飲んだり、近隣の散歩、裏山へ山菜取りにでかけるなど、気分転換の機会が持てるようにしている。外食に出かけられない代わりに本格的なラーメンを作って提供するなど、事業所内でも楽しめるよう工夫して取り組んでいる。管理者は感染症が5類に移行したことを踏まえ、感染状況を注視しながら以前の暮らしに近づけたいと考えている。今後も利用者主体の生活支援に向け、職員一丸となって取り組もうとしている姿勢が感じられる。